

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

**SOS** vol. 193通信  
H28年9月7日発行  
発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

**ヘルパーと看護師との連携  
／ナイス・ケア**

ヘルパーとして日常生活を支えることが私の役割。だけど、日常生活の中で医療依存度の高い利用者さんの体調管理や急変時の対応、最期をどのように迎えるか・・・となると不安になる。医療と介護が連携し・・・とは言うけれど、知識も経験も異なる職種。なかなか伝わらない、伝えられないのが正直な気持ち。そんな時、事業所へ持ち帰り、統括看護師へ相談する。そして看護師からケアマネや訪問看護、薬剤師、必要に応じて主治医に連携をつなげていく。事業所では医療と介護がどんなバランスで介入していく方がいいのか、一緒に相談している。

そのような連携が取れることで、利用者さんが少しでも安心して在宅で過ごせ、日ごろ関るヘルパーも不安なく対応できていると感じる。

介護と医療は切り離せない。事業所に気軽に相談できる看護師がいるのは私たちヘルパーにとって強みの一つ！統括看護師に意見をぶつけ、スタッフ皆で考えてその人の生活に寄り添えたら・・・と思う。(T・M)

**＜利用状況 案内板 (★募集中★満員)＞**

★ナイス・ケア **利用者さん大募集♪**

★ナイス・デイ (定員 10名)

日	月	火	水	木	金	土
7	8	7	7	7	8	8

★ナイス・ホーム(定員 25名、登録者 15名)

★愛宕の家(定員 17名中入居者 13名)

★つしま紹介所

★ナイス・キッズ  
(平日、下校後の利用のみ募集中)

～参考にご利用下さい～

**＜教室案内＞**

・和太鼓 月曜日(年間 35回)

場所：愛西市川淵コミュニティ

・コーラス 水曜日(月 2回)

場所：喫茶てのひら

・バスケット金曜日(月 2～4回)

場所：藤浪中学校体育館

※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。

各教室月謝制で、定員あり。詳細はお問い合わせ下さい。

**＜10月行事予定＞**

10日 外食DAY

20日 避難訓練

運営推進会議 13:30～  
(ナイスホーム&ナイスデイ)

28日 いきいきサロン

29日 全体研修

30日 誕生日会

月末に秋の遠足を予定

＜不定期行事＞

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

今日は本音を言おうじゃないか！

休み希望を出しても予定調整者が「ちょっと相談が・・・」と必ずやってくる！「用事があるつちゅーねん！！」と言いつつ休みを替えている私・・・「聞いてこないでー！！」

その本音に答えようじゃないか！

何とか皆で助け合って気持ち良く働けるように頑張ります！ごめんね♪



今年も無事に『夏の宴』を開催することができました。多くの方に参加して頂き、誠にありがとうございました。毎年、この時に当施設で亡くなられた方々の盆供養として住職さんを招き、皆さんと共に読経をしています。その時はいつも今在る一人一人が元気な笑顔で感謝しながら暮らせる日々でありますようにと、願う気持ちでいっぱいです。来年のこの時期まで、皆が幸せでありますように・・・(Y・I)



**静かな最期／愛宕の家**

愛宕の家の住人Tさんが亡くなられた。当初はナイス・ホームの登録だったが、骨折により一人暮らしが難しく、愛宕へ入居となった。ナイスホームを利用し始めた頃はお自分で歩かれていたと・・・経緯は聞いているものの、会話はほとんどせず、いつも小さめな目を更に細めてニコニコしているおじいちゃんと言う感じ。数少ない会話の中から、出身地の事や、草花を育てる事が好きな事とか、家族の事とか話していたのを思い出す。しかし、体調を崩すたびに、表情が乏しくなり、認知症も進みお話もされなくなった。8月に入りあまり食べられなくなり、水分も摂れなくなってしまった。医師も「このままいくと老衰ということになります。」と言われ、家族も顔が暗くなった。8月18日ご自分の83歳の誕生日に静かに息を引き取られた。思い出すのはあの笑顔。ご冥福をお祈りいたします。(K・T)

**＜編集後記＞**

誰もがご存知瀬戸内寂聴さん。様々な病を乗り越え、92歳で胆のう癌の手術をし、現在94歳、今だ活躍してみえます。自分が病になり老いと死を見つめ、どのような最期を考えた時、『老いも病も受け入れよう』という考えにたどりついたそうです。SOSの利用者さんも随分高齢になってみえました。寂聴さんの言葉を胸に利用者さんが少しでも穏やかに楽しく過ごして頂けるお手伝いができたら・・・と思う毎日です。(M・O)

**見極め期間／ナイス・ホーム**

骨折で入院。退院後は自宅での生活を希望されていたSさん。しかし、家族には仕事があり、どうしても日中1人で過ごす時間があるため常に転倒の心配がある。もちろん介護サービスを利用することが検討されたが、デイサービスだけでは自宅での様子が心配。訪問だけではアクティビティーに欠ける・・・そこで小規模多機能で両方のサービスを受けてみてはどうか？という事で登録利用となった。

周りに気を使われ、とてもナイーブなSさん。元気になりたい、自分の事は自分でやりたいと意欲満々。自宅では洗濯、茶碗洗いなど、出来る事を頑張る。通い利用では体操、家事作業等に熱心。そして、帰宅するとクタクタになってしまう。

同居家族から『訪問と通いと関わらせて頂いた結果、自宅の様子も通いの様子も少しずつ把握出来ていた』と声を掛けていただいた。

今月からは訪問対応を少なくして様子を見ようという事になっている。ゆくゆくは小規模でなくても大丈夫になれるだろう。その見極めをし、状態に合わせた制度を使ってもらえるように支援していく。それも小規模の役割だと思っている。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。9月の発送部数 85部